

ディボーション質問表



エレミヤは 20 歳のときに神様に預言者として召されました。託された言葉は、国の指導者が聞きたくない言葉でした。彼は涙の預言者と呼ばれます。裁きの預言通り、イスラエルが滅ぼされたからです。彼は家族からも迫害され、苦しみを通り国が滅びることに嘆いたにも関わらず、決してその使命から退くことはせず、託された預言に水増しすることはありませんでした。

16日(月) エレミヤ書 1:1~19 エレミヤの召命

1. 1~3 節でいつ預言をいただいたかわかります。そして 4~10 節でエレミヤが預言者としてやりぬいた拠り所、神体験をみることができます。彼が神様から頂いた約束と召しはどのようなものだったでしょうか？ a. 5 節 b. 6~8 節 c. 9b~10 節
2. 2つのエレミヤが預言を受けたパターンが記されています。どんなパターンでしょうか(11~19 節)? → 幻や夢から神様が示されることがあります。旧約時代の預言者の働きはもうありませんが、預言の賜物は新約時代に生きる私たちに与えられています。印象に残った夢や幻を見た後、そこから示される御言葉、神様からのメッセージを求めてみましょう。

17日(火) エレミヤ書 2:1~19 民の罪の告発

2章から6章の預言はヨシヤ王の時代(エレミヤ初期)の預言です。

1. イスラエルの民は何を忘れたのでしょうか(2~9 節)?
2. イスラエルの民は何と交換して満たされることがないようになったのでしょうか(10~19 節)?
※キティムの島々は地中海西方の島々のことでパレスティナから西方を指し、ケダルは東にあった砂漠の遊牧民たちを表します。つまり、あなたの東西を見渡せの意味です。

18日(水) エレミヤ書 2:20~37 民の罪の告発

1. 神様を忘れほかのものにより頼む偶像礼拝の行為はどのようなものだと描写していますか(20~28 節)? 恥じるべき行為は、ないでしょうか?
2. 警告でも処罰でも試練でも悔い改めて神様に立ち返ることができなかった民を描写しています。(29~37 節)。すぐに悔い改め方向を 180 度変えることができる柔軟さと自制を兼ね備えているでしょうか?

19日(木) エレミヤ書 3:1~25 悔い改めへの招き

1. 偶像礼拝は、何と同じ行為として言い表されていますか(1~10 節)? もしそうなら、霊において癒着が起こり、簡単には抜け出せなくなります。神様以外のもの依存しているものを断ち切るのは困難です。自分の霊をきよめ、心を一新し、日々の生活で新しい習慣をはじめする必要があります。依存しているものはないでしょうか?
2. 14~25 節で神様はどんな約束を与えていますか? 悔い改めの祈りをしませんか?

20日(金) エレミヤ書 4:1~31 迫り来る災い

1. 4, 14 節に何と書かれていますか? 「心の包皮をとりのぞく」とはあなたにとってどういうことでしょうか? → 罪を告白できる心ゆるせるコミュニティはありますか?
2. 4章から6章を通して、この世には来るべき審判があり、平穩に暮らす私たちにこの世は決して頼りになるものではないことを悟らせてくれます。→ 審判を恐れるのではなく、神様の恵みと御心に目を向け歩むことに焦点をあわせ平安を得るようにしましょう。

21日(土) エレミヤ書 5:1~31 神の審判

1. 1~15 節を読んで、どうすれば神様に赦されるか発見しましょう。たとえ神様に赦されないとしても、神様はどのようなあわれみを与えてくださり、悔い改めのチャンスを与えていますか(18 節)?
2. 21 節は、イエス様が御国の福音を拒んだイスラエルの民に引用した言葉です。
→ 私の霊の耳と目は、聖霊様の声と導きに敏感だろうか?